

第2回 「海洋生物と気候変動：解決と適応」

開催情報

日時：令和8年3月8日（日）
13:00～16:00

方法：オンラインのみ

趣旨

身近な生物を題材にした
「海洋生物と気候変動：現状と課題」・
「海洋生物と気候変動：解決と適応」・
「海洋生物と気候変動：考えるべき倫理」
の3回に分けて、一般市民向けのシリーズ
公開シンポジウムを開催します。

第2回「解決と適応」では、気候変動が進行する中で、海洋生態系の再生や適応策を多角的に検討する。特に、ブルーカーボンを含む藻場再生や海洋酸性化への対応策、漁業と生態系サービスの関係について議論します。地域の取り組みや企業の技術的解決策を紹介し、持続可能な海洋利用を促進する方法を探ります。

主催・共催・後援

主催：基礎生物学委員会・統合生物学委員会
合同海洋生物学分科会

共催：地球惑星科学委員会、食料科学委員会
水産学分科会、自然史・古生物分科会

後援：生物科学学会連合、日本地球惑星科学
連合、環境省、文科省

次第

13:00-13:10 開会挨拶・開催趣旨説明（10分）

日本学術会議連携会員・海洋生物学分科会委員長（原田 尚美）

13:10-14:40 基調講演（90分）

伊藤 慶子（株WMI代表）「海洋再生プロジェクトと漁業コミュニティの連携」

高倉 葉太（株イノカ代表）「海から拓く、日本経済の未来」

渡辺 謙太（海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所）「ブルーカーボン貯留と大気CO₂除去の統合的理解（仮）」

14:40-14:50 休憩（10分）

14:50-15:40 パネルディスカッション（50分）

テーマ：「持続可能な海洋利用のための適応策」

パネリスト：基調講演者+モレーテ（堀 正和 水産研究・教育機構）

15:40-16:00 質疑応答（20分）

16:00 閉会挨拶 日本学術会議副会長（三枝 信子）

参加申し込み方法

<https://forms.gle/2yfnh4foEeF4XwyR6>

問い合わせ先：

原田 尚美 naomi.harada@aori.u-tokyo.ac.jp
安田 仁奈 27Yasuda@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

